# 県立高校の在り方に関する
# 地区別情報交換会

令和７年１１月４日・１１日

群馬県教育委員会

# 1 高校を取り巻く環境の変化

## １．社会の変化

・複雑かつ予測困難な課題を抱えた現代

➢ **高校教育の果たす役割は大きい**

## ２．生徒の多様化

・生徒の学習ニーズ、興味･関心、進路希望等の多様化

➢ **多様な生徒受入の体制づくりが必要**

## ３．生徒数の減少

・継続的な中学校卒業者の減少

➢ **学校の活力維持や特色化が必要**

## ４．教育のデジタル化

・社会や生活様式が大きく変容し、デジタル化が加速

➢ **デジタルを活用した、個別最適な学びを推進**

**高校教育改革（県立高校の在り方の検討）が必要**

# 2 県立高校の在り方検討

**既存の取組**

- スーパーサイエンスハイスクール
- 非認知能力育成
- ＤＸハイスクール　など

＋ **在り方検討** ➡ すべての子どもに公平で質の高い教育

## 01　地区別情報交換会

現状・課題等の情報共有

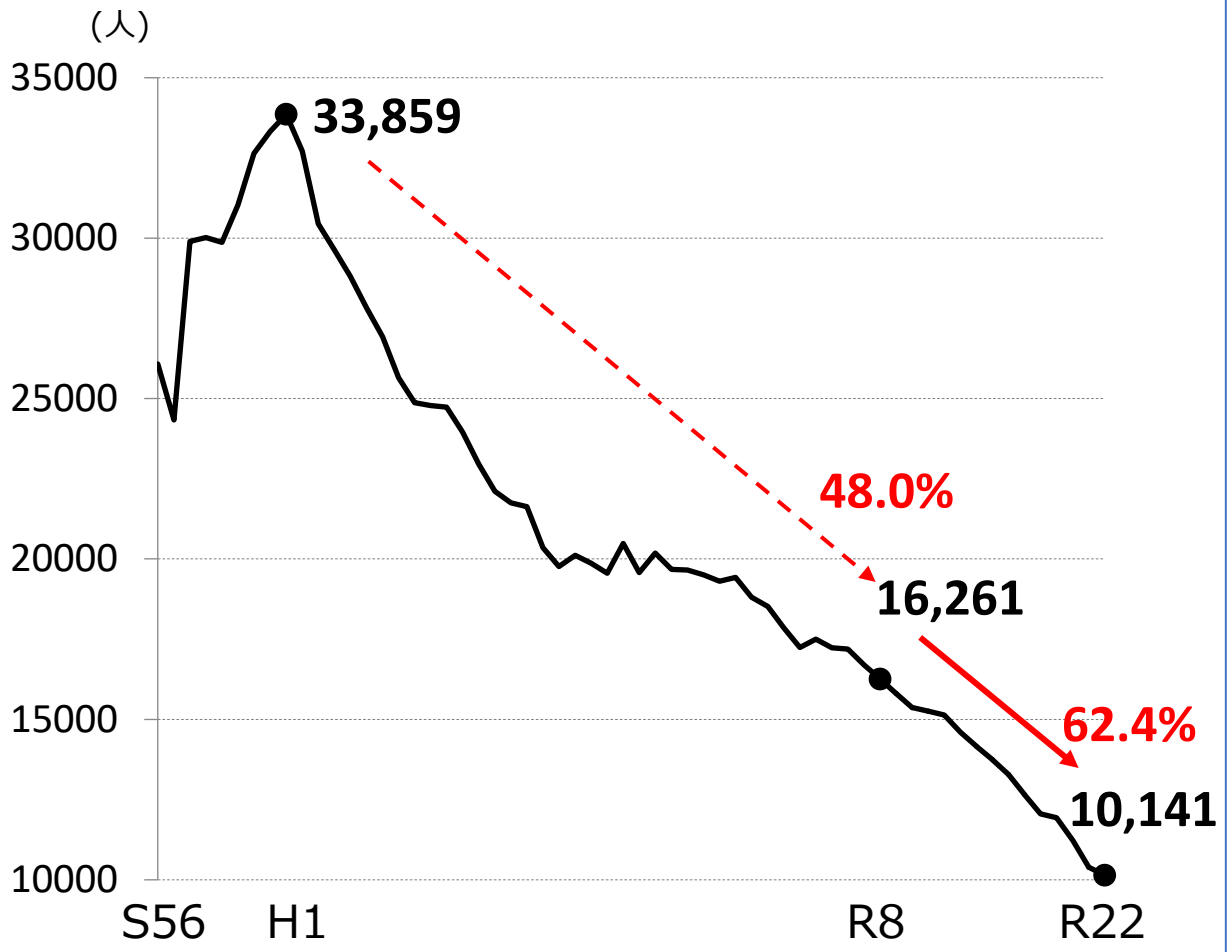
## 02　地区別検討会

地区ごとにゼロベースで幅広く在り方を検討

# 3 県内及び地元中学校等卒業見込者数の推移について

学校基本調査準拠

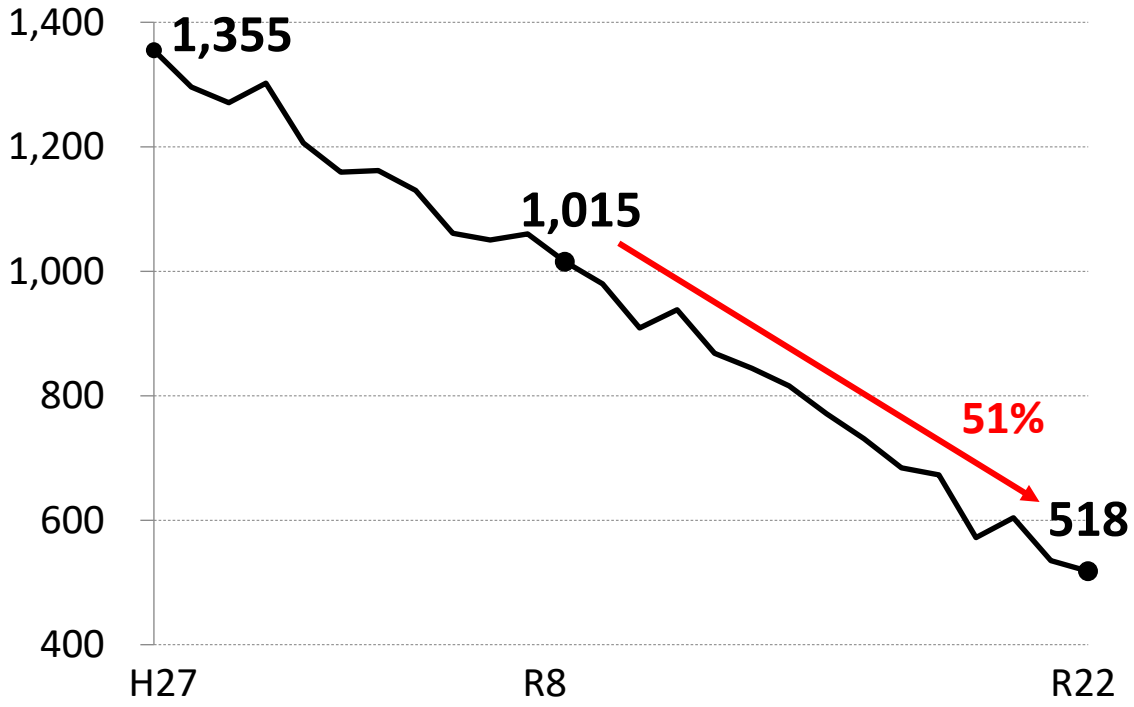
## 群馬県




・今後、数年間の見込み

R8→R9：**-455**，R9→R10：**-436**，R10→R11：**-114**

## 藤岡市・多野郡・富岡市・甘楽郡




R8と比較して、R22(１４年後)は、**497人減**の見込

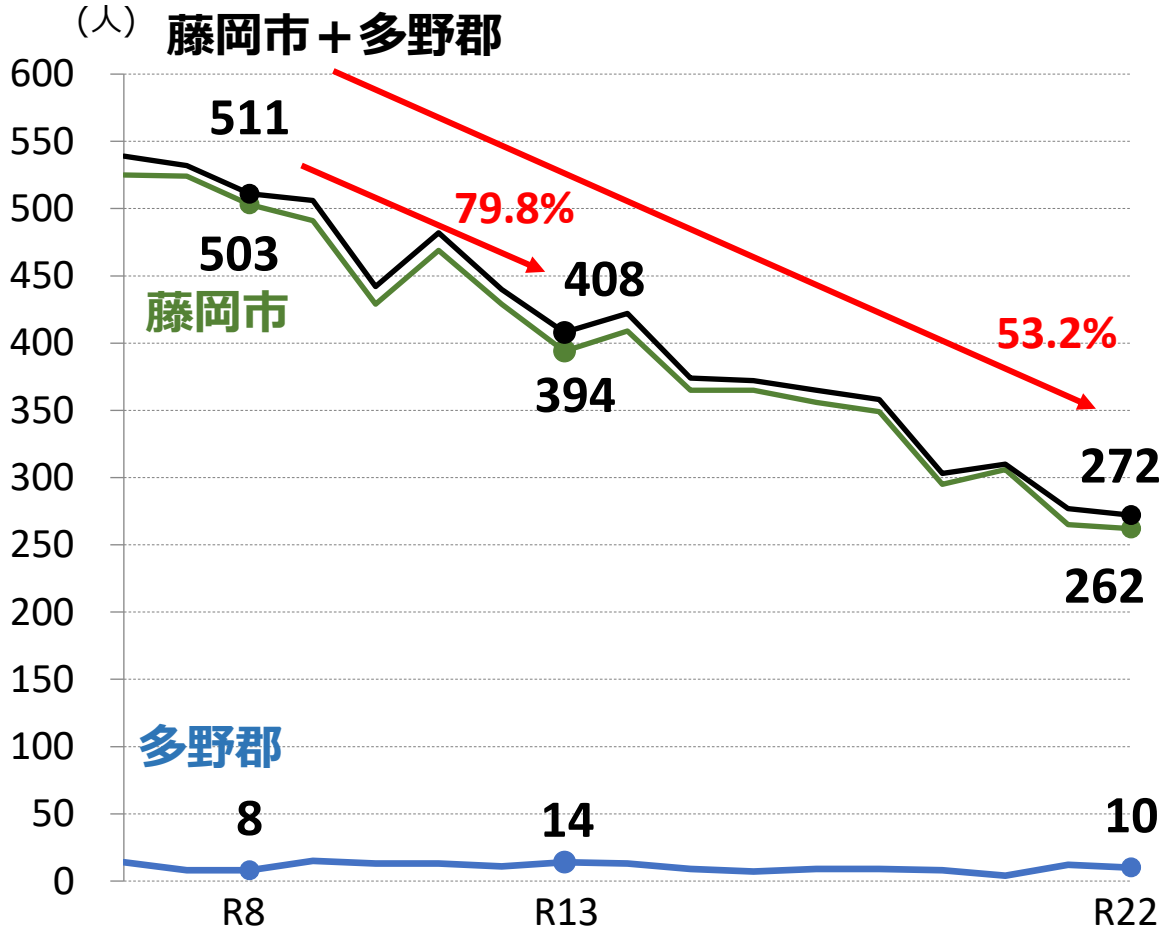
**現在の高校数を維持**

**各高校の小規模化が進行**

# 3-（2） 郡市別中学校等卒業見込者数の推移について

学校基本調査準拠

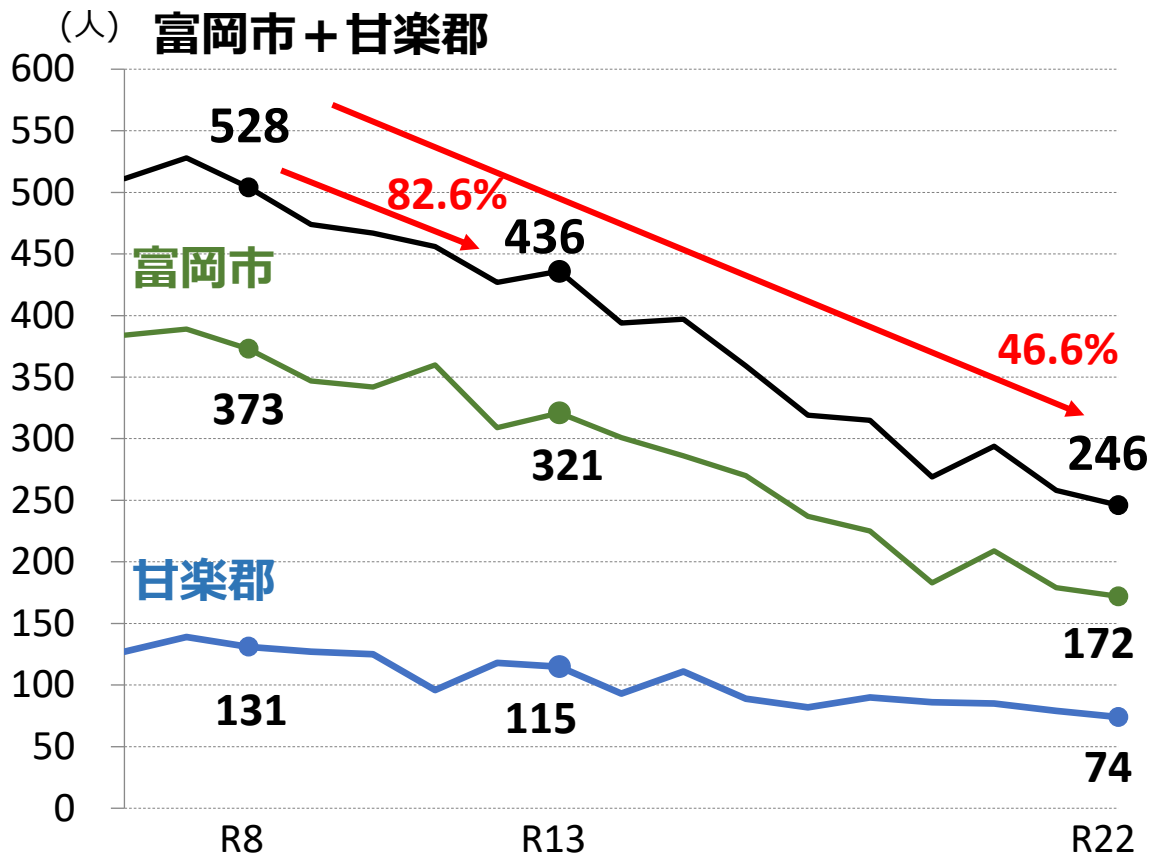
## 藤岡市・多野郡




【R8 → R13 】**103人減**　　【R8 → R22】**239人減**

（藤岡市）
・ R8比： R13(5年後)は78.3%、 R22(14年後)は52.1%

## 富岡市・甘楽郡




【R8→R13】**92人減**　　【R8→R22】**282人減**

（富岡市）
・ R8比： R13(5年後)は86.1%、 R22(14年後)は46.1%
（甘楽郡）
・ R8比： R13(5年後)は87.8%、 R22(14年後)は56.5%

# 4 地区内の公立高校のプロフィール

（R7学校要覧等をもとに作成）

課程：全→全日制、定→定時制、通→通信制

| | 学校名 | 課程 | R7.3卒業者数 | 進路状況(R7.3卒業生) | | | | 特徴 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 大学 | 短大 | 専門学校等 | 就職 | |
| 藤岡市 | 藤岡中央 | 全 | 121 | 33 | 9 | 49 | 21 | 2004年創立の**普通科共学校**。普通科に加えて理数科(２年次から)を設置。地域と協力している「ふじおか未来探究」や大学と連携した「理数探究」等の探究活動を展開。2024年度からは「コミュニティ・スクール」として、地域と一体となった教育活動を推進。 |
| | 〃 | 定 | 7 | 2 | 1 | 1 | 3 | 普通科・4年制の夜間定時制課程。 |
| | 藤岡北 | 全 | 106 | 14 | 7 | 34 | 51 | 1947年創立1983年分離独立の**農業単科の専門高校**。<br>生物生産(ﾊﾞｲｵﾋﾞｼﾞﾈｽ･ﾌｰﾄﾞﾋﾞｼﾞﾈｽ)、環境土木(環境工学･ｶﾞｰﾃﾞﾆﾝｸﾞ)、ﾋｭｰﾏﾝ･ｻｰﾋﾞｽ(園芸福祉･ﾌﾛｰﾗﾙﾗｲﾌ)を設置。生徒募集を「くくり」とし、３学科６ｺｰｽにより幅広く農業教育を展開。2025年度よりSAH協力校として、非認知能力育成に向けた授業改善を推進。 |
| | 藤岡工業 | 全 | 77 | 7 | 0 | 17 | 52 | 1962年創立の**工業高校**。<br>2025年度から、ものづくり創造、電気･情報技術の２学科に改編（今年度在籍している2･3年生は機械、電子機械科、電気科の３学科）。<br>ものづくり創造科･･･機械生産ｼｽﾃﾑｺｰｽ、ﾛﾎﾞｯﾄｼｽﾃﾑｺｰｽ<br>電気・情報技術科･･･電気ｼｽﾃﾑｺｰｽ、情報ｼｽﾃﾑｺｰｽ |
| 多野郡 | 万場 | 全 | 14 | 3 | 0 | 1 | 6 | 1951年創立の**普通科共学校**。連携型中高一貫教育推進校。<br>2025年度入学生から、２年次にライフデザインコース・水産コースの２コース制を選択。<br>ライフデザインコースは３年次に福祉型もしくは基礎学力型を選択する。 |

4-（2）

# 地区内の公立高校のプロフィール

（R7学校要覧等をもとに作成）

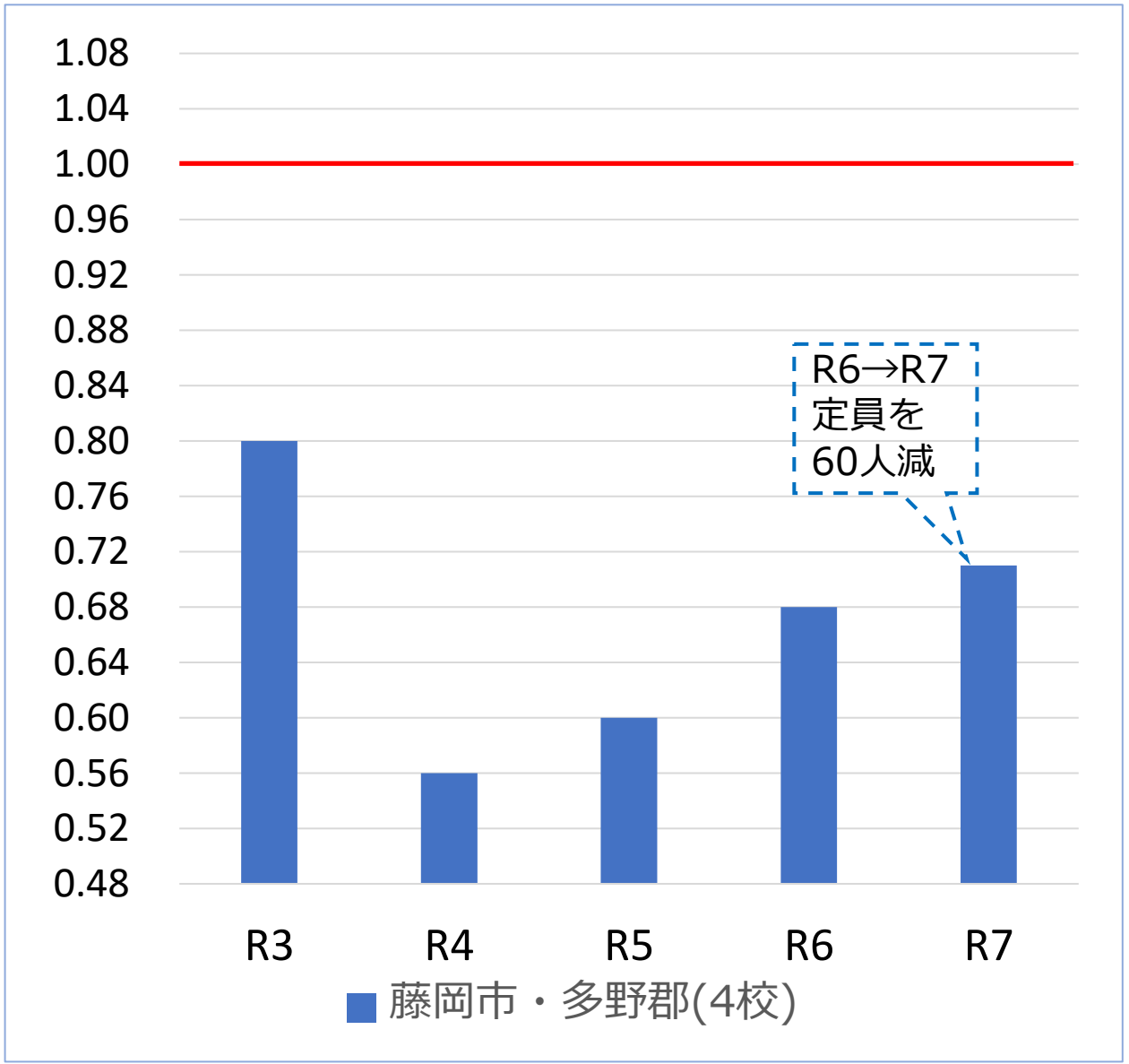
課程：全→全日制、定→定時制、通→通信制

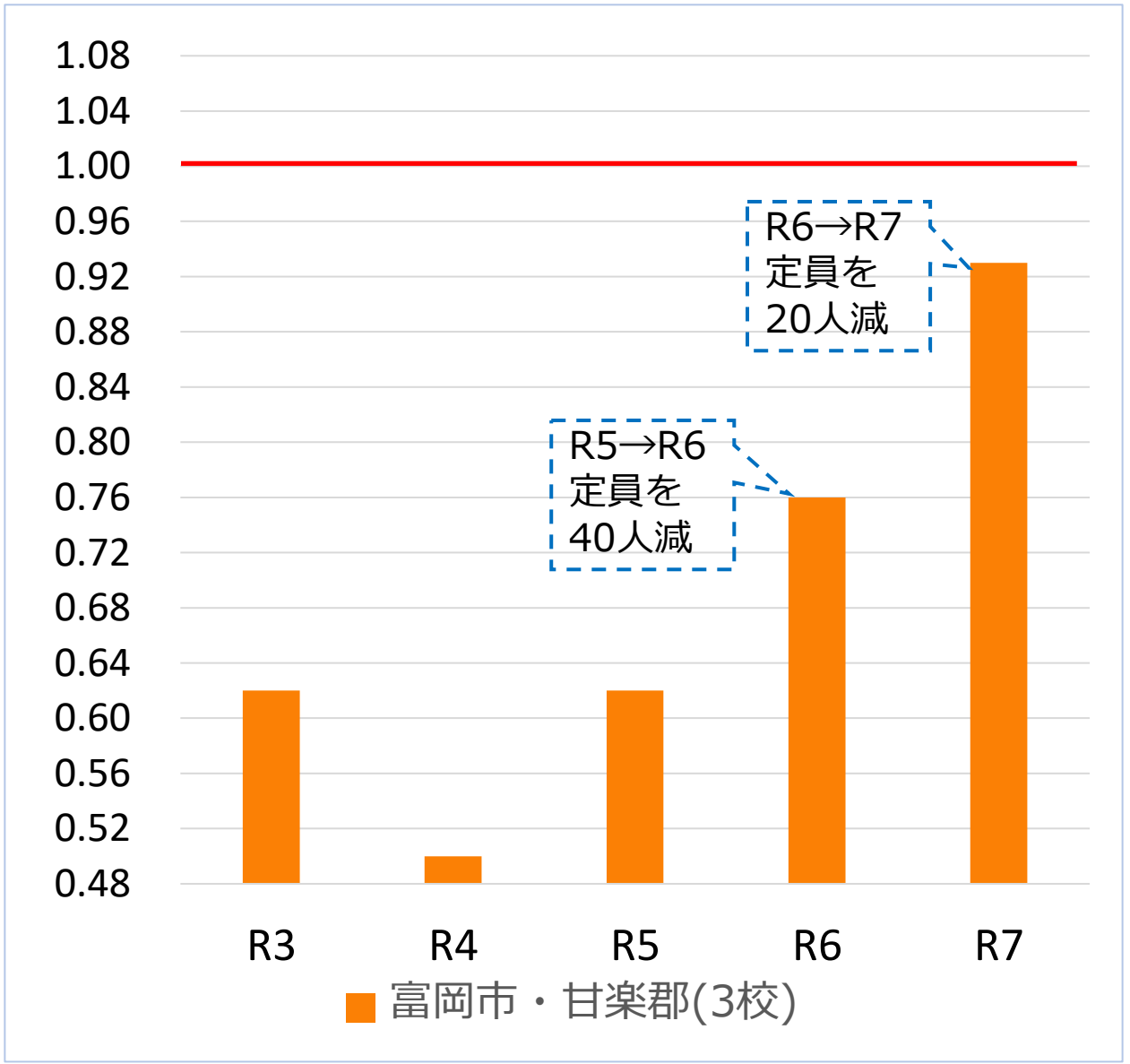
| | 学校名 | 課程 | R7.3卒業者数 | 進路状況(R7.3卒業生) | | | | 特徴 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 大学 | 短大 | 専門学校等 | 就職 | |
| 富岡市 | 富岡 | 全 | 199 | 161 | 6 | 20 | 8 | 2018年、伝統ある旧富岡高等学校と旧富岡東高等学校の統合により開校した**普通科共学校**。「黒門キャリアプラン」を軸に、日常の高校生活の中で人間力・学力向上を図るとともに「課題解決型インターンシップ」や「QR型課題解決」などの探究活動の実践を通して、こころばえ豊かな生徒の育成に取り組んでいる。2024年からは、生徒が主体となって企画・運営する文化祭を毎年開催しており、SAH協力校にもなっている。 |
| | 〃 | 定 | 3 | 2 | | | 1 | 普通科・４年制の夜間定時制課程。 |
| | 富岡実業 | 全 | 94 | 9 | 3 | 33 | 49 | 1926年創立の**農業・工業を併設する実業高校**。<br>生物生産科、地域産業科、電子機械科の３学科を設置。<br>県内唯一の農業科・工業科のくくり募集（１年次後半から希望の学科に分かれて学習）を実施。 |
| 甘楽郡 | 下仁田 | 全 | 16 | 0 | 0 | 8 | 8 | 1937年創立の**普通科共学校**。ぐんまコミュニティ・ハイスクール。<br>２・３年次は２コース制<br>アドバンスコース･･･上級学校を目指す<br>ビジネス・カルチャーコース･･･実社会に対応できる資格取得や文化的教養を高める<br>荒船風穴ボランティアガイド活動等、地域と連携した教育活動を展開。 |

# 地区内の公立高校のプロフィール

＊入試倍率･･･R3～R5は後期選抜

## 公立高校(全日制課程)の入試倍率*の推移



# 中学校卒業者の流出入について

学校基本調査等を基に作成

## Ｒ７中学校卒業者の主な動き

### 【県内他地区】

| 郡市 | 主な流入先(人数) | | 郡市 | 主な流出先(人数) |
|---|---|---|---|---|
| 藤岡市<br>(中卒者数524人) | 藤北(58)　藤中央(52)<br>藤工(27) | 137人 ← → 124人 | 高崎市<br>安中市 | 高商(29)　高工(16)　高崎(15)<br>高経附(14)　高東(13)　高北(12)<br>高女(11)　吉井(11) |
| | 藤中央(2)　藤北(2)　藤工(2) | 6人 ← → 15人 | 前橋市 | 前商(8)　前女(5) |
| 富岡市<br>(中卒者数389人) | 富岡(53)　富実(15) | 68人 ← → 100人 | 高崎市<br>安中市 | 吉井(40)　高女(14)　高崎(13)<br>高工(13)　高経附(7)　高商(6)<br>安中総合(5) |
| 多野郡・甘楽郡<br>(中卒者数 147人) | | 9人 ← → 34人 | 高崎市 | 吉井(16)　高工(9)　高崎(3) |

### 【県内私立高校】

| 郡市 | | | 主な進学先 |
|---|---|---|---|
| 藤岡市<br>多野郡 | 232人 → | 県内<br>私立<br>高校 | 東京農大二、健大高崎<br>高商大附、前橋育英 |
| 富岡市<br>甘楽郡 | 44人 → | | |

### 【県外】

| 郡市 | | 流出先 |
|---|---|---|
| 藤岡市<br>多野郡 | 2人 ← → 63人 | 県外<br>(国公私立高校) |
| 富岡市<br>甘楽郡 | 1人 ← → 10人 | |

# 6 中学校卒業見込者数にともなうシミュレーション

## 中学校卒業見込者数

| 卒業年月 | 令和8年3月 | 令和13年3月 | 令和17年3月 | 令和22年3月 |
|---|---|---|---|---|
| 中学校卒業見込者数 | **1,015** | 844 | 684 | **518** |
| 増減(令和８年３月比) | － | -171 | -331 | **-497** |

## 学級数及び学校数の見込み(全日制)

| | 高等学校名 | 学科等 | 令和8年 | | 令和13年 | 令和22年 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学校数 | | **７校** | | ７～４校 | ７～２校 |
| 藤岡・多野 | **藤岡中央** | 普通科/理数科 | **４学級** | **21学級** | 17～13学級 | **12～9学級** |
| | **藤岡北** | 農業系学科 | **３〃** | | | |
| | **藤岡工業** | 工業系学科 | **２〃** | | | |
| | **万場** | 普通科 | **２〃＊** | | | |
| 富岡・甘楽 | **富岡** | 普通科 | **５〃** | | | |
| | **富岡実業** | 農業系学科/工業系学科 | **３〃** | | | |
| | **下仁田** | 普通科 | **２〃＊** | | | |

＊１学級22人

# 6－（2） 中学校卒業見込者数にともなうシミュレーション

**令和8年度**
**１学年定員**

全日制課程

| 7校・21学級 | | |
|---|---|---|
| 藤岡中央 | 普通科/理数科 | **4学級** |
| 藤岡北 | 農業系学科 | **3 〃** |
| 藤岡工業 | 工業系学科 | **2 〃** |
| 万場 | 普通科 | **2 〃＊** |
| 富岡 | 普通科 | **5 〃** |
| 富岡実業 | 農業系学科/工業系学科 | **3 〃** |
| 下仁田 | 普通科 | **2 〃＊** |

平均学級数
3.0学級/1校

**学校数を維持**

＊１学級22人

**令和22年度**
**シミュレーション**

| 7校・10.6学級 | |
|---|---|
| 藤岡中央 | **2 学級** |
| 藤岡北 | **1.5 〃** |
| 藤岡工業 | **1 〃** |
| 万場 | **1 〃** |
| 富岡 | **2.6 〃** |
| 富岡実業 | **1.5 〃** |
| 下仁田 | **1 〃** |

＊地区内の中学校
卒業見込者数の推移
**Ｒ８比 [51%] を基に算出**

・１学年の
平均学級数
1.5学級/1校

・ほとんどの学校が
２学級以下に

※ [第２期高校改革推進計画] ２ 県立高校の再編整備 (1)適正規模
イ 学習の専門性の確保に加え、多様な部活動の保障や学校行事等の活力維持から、１学年当たり４～８学級を基本とします。

# 高校における小規模化の課題

**生徒同士が学び合い、切磋琢磨できる機会の減少、多様な学び・充実した教育活動の実施が困難**

## １．学校の活力への影響

【学校行事・部活動など】

○クラス対抗行事や体育大会の種目数の縮減など、活動の幅が限定される。

○文化祭等の準備・運営が困難になり、学校行事等が縮小される。

○部活動数が少なく、生徒は希望する活動ができない。

○部員数が少なく、運動部のチーム編成や、音楽系部活動のパート編成等が難しい。

**生徒の学びの機会の減少**

# 高校における小規模化の課題

## 2．学習活動への影響

【学習活動】

○コース別や習熟度別などの編成がしにくく、多様な学習形態を取りにくい。

○専門の教員をそろえ、全ての科目を開講することが難しい。
（高校では、総合的な探究の時間以外に10教科15科目が必履修科目）

→生徒の**科目選択が制限**される

＜学校規模別の配置教諭数の例（理科）＞

| 教科 | 科目 | 学校規模(1学年当たりの学級数) | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | ２学級 | ４学級 | ６学級 | ８学級 |
| 理科 | 科学と人間生活<br>物理基礎<br>物理<br>化学基礎<br>化学<br>生物基礎<br>生物<br>地学基礎<br>地学<br>理科課題研究 | ２人 | ４人 | ５～６人 | ６人 |

**生徒の進路選択に影響**
**(進学に必要な受験科目が選択できない等)**

# 新しいタイプの高校【例】

## 栃木県

### ➢ 未来共創型専門高校　（再編統合）

・複数の職業系専門学科を併置　→　学科横断的学習を推進する総合選択制

＜特徴＞

＊ 異なる学科の生徒が連携･協働して探究的に学ぶ活動を推進

＊ 他の専門学科の科目や発展的な普通科系科目の選択が可能

## 岡山県

### ➢ 県立岡山御津高校（総合学科）　（学科改編等）

＊ 高校進学を目指しているが、様々な理由で登校できていない中学生のための「教育支援センター”My Place”」を開設（R6）

＊ 全日制高校への進学を目指している不登校傾向の中学生に対して、入学後、他校の通信制課程の科目を一部履修（全通併修）することができるフレックス制を導入（R7）

# 新しい学科【例】

## 大分県

### ➢ 大分県立情報科学高校　（学科改編等）

・2023年度に新たな時代を担う人材育成を目指して学科改編

→ＡＩテクノロジー科、ビジネスソリューション科、デジタル創造科の３学科

＜特徴＞

＊ＡＩ、ＩｏＴ、半導体など高度先端分野を総合的に学ぶ（ＡＩテクノロジー科）

## 兵庫県

### ➢ 兵庫県立北神戸総合高等学校　（再編統合）

・2025年、県立神戸北高校(普通科)と神戸甲北高校(総合学科)の発展的統合により開校

→これからの時代に合わせた多彩な科目（系列）を設置した総合学科高校

＜系列＞宇宙･気象、ＤＸ、ひょうごからスタートアップ、スポーツ･アウトドアと防災、

ダイバーシティー＆インクルージョン、リベラルアーツ　の６系列

# 新しい学科・施設【例】

## 京都府

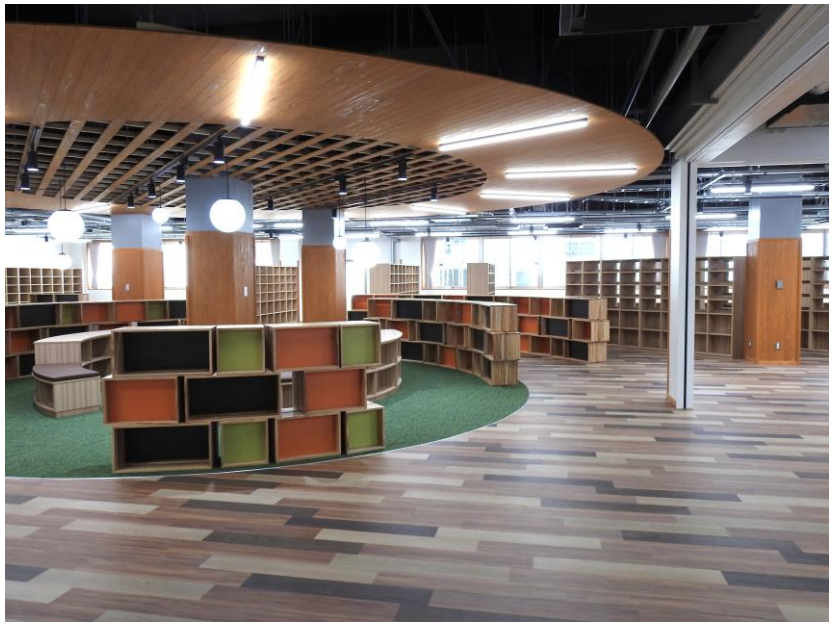
### ➢ 京都市立開建高等学校　（学科改編等）

・2023年、京都市立塔南高校(普通科･教育みらい科設置)を再編して開校
　→ルミノベーション科（その他普通教育を施す学科）を設置（１学科のみ）
＊「自ら主体的に考え、探究し、多様な他所と協働することを楽しみ、未来を創造する人物」の育成を目指し、対話･協働の学び、地域･社会での学び(探究活動)を展開。

# 本県における新しい学校

## ➢ 沼田高等学校　（再編統合）

・沼田高校と沼田女子高校の統合により、
　2025年4月に開校した普通科共学校
　→進学重視型単位制、文理探究コースを設置
＊幅広い選択科目･･･自分だけの時間割
＊メディアラーニングセンターをはじめとする最新の学習環境を整備



← メディアラーニングセンター

# 検討会について

## 検討方法

○**座長は第三者**（有識者等）で開催

○開催の要望を頂くなど、**準備の整った地区から順次** 開催

## 検討内容

○**地区の高校の未来像**について

**ゼロベースで**
**地区関係者による**
**検討**

・生徒、地域の未来にとって、どのような高校が必要か

・各地区にふさわしい高校とは　等